

令和2年度

財政援助団体等監査報告書

令和3年2月26日 提出

岡谷市監査委員

2監第39号  
令和3年2月26日

岡谷市長 今井竜五様  
岡谷市議会議長 渡辺太郎様

岡谷市監査委員  
小口明彦  
宮坂正志  
中島保明

財政援助団体等監査の結果について（報告）

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等監査を実施したので、同条第9項の規定により次のとおり報告します。

# 監査報告書

この監査は、全国都市監査基準に準拠した岡谷市監査基準に基づき実施した。

## 1 監査の対象及び範囲

### (1) 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等監査

### (2) 監査対象

- ア 特定非営利活動法人 郷土学習館運営委員会（所管課 生涯学習課）  
（令和元年度決算）郷土学習館活動支援事業補助金 1,800,000 円
- イ 公益財団法人 岡谷市スポーツ協会（所管課 スポーツ振興課）  
（令和元年度決算）スポーツ振興事業補助金 1,081,000 円

### (3) 監査の実施日

令和3年1月28日

### (4) 監査執行者

岡谷市監査委員	小 口 明 彦
	宮 坂 正 志
	中 島 保 明

### (5) 監査の目的

岡谷市が補助金等の財政的援助を行っている団体等（出資法人、補助金等交付団体、指定管理者）について、前年度の事業を対象に出納その他の事務が適正かつ効率的に行われているかを確認・検証するとともに、当該団体等の事務が出資等の目的に沿って適正かつ効果的に行われているかを主眼として実施した。併せて、市の所管部局の当該団体に対する指導等が適正に行われているかについても監査を実施した。

### (6) 監査の実施手続

令和元年度の出納その他事務の執行について、決算関係書類等あらかじめ提出を求めた資料に基づき関係職員からの事情聴取を行い、岡谷市からの補助金等に係る出納、そ

の他事務が適正かつ効率的に執行されているかどうかを主眼とし、それぞれ具体的に着眼点を定め監査を実施した。

#### (7) 監査の着眼点

##### ア 補助金等交付団体関係（郷土学習館運営委員会及び岡谷市スポーツ協会）

(ア) 事業計画書、予算書及び決算諸表等と所管部局へ提出した補助金等の交付申請書、実績報告等は符合するか。

(イ) 補助金等交付申請書の提出及び補助金等の請求、受領は適時に行われているか。

(ウ) 事業は、計画及び交付条件に従って実施され、十分効果が上げられているか。また、補助金等が補助等対象事業以外に流用されていないか。

(エ) 出納関係帳票等の整備、記帳は適正になされているか。また、領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。

(オ) 補助金等に係る収支の会計経理は適正か。

(カ) 補助金等の執行に関し、内部統制は有効に機能しているか。

(キ) 現金や預金通帳、銀行印等の管理体制は適切か。

(ク) 団体の監査役や監事は、独立性が確保され、有効に機能しているか。

##### イ 所管部局関係（生涯学習課及びスポーツ振興課）

(ア) 補助金、交付金、負担金、貸付金、その他の財政的援助（以下「補助金等」という。）の決定は法令等に適合しているか。

(イ) 補助金等交付要綱は、適正に整備されているか。

(ウ) 財政的援助が既得権益化しているものはないか。また、随時社会情勢に合わせて見直されているか。

(エ) 補助金等の交付目的及び補助等対象事業の内容は明確か。また、公益上の必要性は十分か。

(オ) 補助金等に関する条件の内容は明確か。

(カ) 補助金等の額の算定、交付方法、時期、手続等は適正か。

(キ) 補助金等の条件の履行状況、対象事業の内容、対象経費、使途の適正性及び効果等について、実績報告書等により確認されているか。また補助金等交付団体からさらに補助金等を受ける団体等についても同様の確認がなされているか。

(ク) 補助金等交付団体への指導監督は適切に行われているか。

(ケ) 補助金等の交付目的、公平性、効果等から判断して、統合、廃止等の見直しをする必要のあるものはないか。

(コ) 補助金等の必要性を見直す仕組みはあるか。

## 2 特定非営利活動法人 郷土学習館運営委員会

### (1) 監査対象団体の概要等

#### ア 設立の目的等

特定非営利活動法人郷土学習館運営委員会は、岡谷市民をはじめ、広く一般の人々に対して、郷土の優れた先人の生き方や地域の歴史、自然、社会等を学ぶ機会と場を提供し、現代に生きる我々の人間としての望ましいあり方を探求するとともに、次代を担う青少年の健全育成に寄与し、社会に貢献することを目的として平成11年4月に設立され、同年9月に特定非営利活動法人として成立している。

#### イ 岡谷市との関係

郷土学習館運営委員会は、郷土学習館の管理運営及び改築等に関して、岡谷市郷土学習館補助金交付要綱に基づく岡谷市の支援を受けている。令和元年度は、岡谷市から 1,800,000 円の運営補助金が交付されている。

#### ウ 組織構成について

役員は15人で、その内訳は、理事長1人、副理事長2人、顧問1人、理事9人、監事2人で構成されている。

### (2) 事業の実施状況等

#### ア 事業の実施状況

令和元年度に実施された主な事業は、次のとおりである。

##### (ア) 法人関係事業

- ・法人事業運営全般、研究委員会、賛助会員の加入促進
- ・郷土の優れた先人に関する調査研究及び調査結果の展示、説明

##### (イ) 講座等

- ・拓道塾（実施回数6回、参加者169人）
- ・市民講座（実施回数3回、参加者31名）
- ・読書会（実施回数10回、参加者175人）
- ・時の問題を語る会（実施回数10回、参加者48人）
- ・やまぼうしの会（実施回数17回、95人）
- ・おはなしの森（実施回数29回、参加者2,177人）
- ・吊るしびな講習会（実施回数2回、参加者12人）
- ・旧渡辺家住宅わくわくクラブ（実施回数5回、参加者57人）
- ・わくわく塾習字教室（実施回数22回、参加者325人）

(ウ) その他活動

- ・小中学校、公民館活動、地域への協力と旧渡辺家住宅の説明、管理委託への取組
- ・「学習館だより・旧渡辺家住宅保存協会会報」の発行配布、常設展示
- ・ホームページによる広報活動、会員数増加活動
- ・認定特定非営利活動法人格取得の取組
- ・資料、書籍等の収納場所の増築検討
- ・「徳本・薬草」に関する取組、旧渡辺家末裔の方々との交流

イ 決算の状況

(ア) 会費の状況

年 度	運営会費	賛助会費	金 額
令和元年度	110,000 円 7人 (22口) (5,000 円/口)	955,000 円 46人 (95口) (10,000 円/口)	1,065,000 円

(イ) 活動計算書 (平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日) (単位：円)

科 目	予算額	決算額	増 減
<b>I 経常収益</b>			
運営費	105,000	110,000	5,000
賛助会費	1,000,000	955,000	△ 45,000
市補助金	1,800,000	1,800,000	0
国庫補助金	23,000	23,000	0
事業収益	80,000	66,695	△ 13,305
寄付金	100,000	215,000	115,000
その他収益	20,000	13,971	△ 6,029
経常収益 計	3,128,000	3,183,666	55,666
<b>II 経常費用</b>			0
<b>1 事業費</b>			0
給料手当	1,067,157	1,051,248	△ 15,909
諸謝金	440,000	442,000	2,000
印刷製本費	160,000	156,960	△ 3,040
会議費	5,000	0	△ 5,000
旅費交通費	15,000	25,000	10,000
通信運搬費	20,000	17,616	△ 2,384
消耗品費	240,000	234,017	△ 5,983
水道光熱費	57,000	55,208	△ 1,792
減価償却費	1,046,112	1,117,788	71,676
保険料	2,000	0	△ 2,000
研修費	3,000	0	△ 3,000
雑費	40,000	40,512	512
事業費計	3,095,269	3,140,349	45,080
<b>2 管理費</b>			0
給料手当	118,573	129,932	11,359
福利厚生費	10,000	9,000	△ 1,000
会議費	10,000	24,478	14,478
旅費交通費	2,000	0	△ 2,000
通信運搬費	120,000	119,466	△ 534
消耗品費	100,000	104,918	4,918
修繕費	20,000	26,080	6,080
水道光熱費	320,000	303,645	△ 16,355
地代家賃	9,000	9,000	0

減価償却費	116,238	124,195	7,957
保険料	94,300	108,700	14,400
諸会費	1,500	1,500	0
支払手数料	130,000	159,646	29,646
雑費	13,470	43,875	30,405
管理費計	1,065,081	1,164,435	99,354
経常費用計	4,160,350	4,304,784	144,434
当期経常増減額		△ 1,121,118	
Ⅲ 経常外収益		0	
Ⅳ 経常外費用			
税引前当期正味財産増減額		△ 1,121,118	
当期正味財産増減額		△ 1,121,118	
前期繰越正味財産額		24,951,150	
次期繰越正味財産額		23,830,032	

令和元年度における収支状況は、経常収益 3,183,666 円、経常費用 4,304,784 円である。当期経常増減額は 1,121,118 円の赤字であるが、建物に係る減価償却費 1,241,983 円を除くと 120,865 円の黒字である。なお、次期繰越正味財産額は 23,830,032 円となっている。主な経常収益は、賛助会費 955,000 円、岡谷市補助金 1,800,000 円、寄付金 215,000 円などである。経常費用については、事業費及び管理費に区分され概要は以下のとおりである。

#### (ウ) 事業費

事業費は、主に拓道塾、市民講座、読書会、学習館だより等の事業を経理するものである。決算額は 3,140,349 円で、主に給料手当 1,051,248 円、諸謝金 442,000 円、減価償却費 1,117,788 円及び消耗品費 234,017 円などとなっており、予算額 3,095,269 円に対して 45,080 円の超過である。

#### (エ) 管理費

管理費は、法人及び館の管理運営を経理するものである。

決算額は 1,164,435 円で、主に給料手当 129,932 円、水道光熱費 303,645 円、減価償却費 124,195 円及び支払手数料 159,646 円などとなっており、予算額に対して 99,354 円の超過である。

### (3) 監査の結果

事業報告書、決算報告書及び総勘定元帳等の証拠書類並びに補助金等交付申請書、実績報告書等の確認を行った結果、当該団体に係る補助金については、交付目的どおり適正かつ効率的に執行され、また、目的に沿って適正に事業運営が行われているものと認められた。

### (4) 意見・要望事項

郷土学習館運営委員会の活動は、郷土に根ざした、自主的学習意欲に満ちた生涯学習

や次代を担う青少年の健全育成を支えるものであり、他に例を見ないその内容は高く評価されるところである。今後も、「生涯学習による人づくり、まちづくり」を理念とした岡谷市の生涯学習推進の一翼を担い、会の独自性、主体性を発揮されるとともに、当館の特长や魅力、認知度の更なる向上に向け様々な媒体による情報発信を行うなど、来館者数や講座受講者数の増につながる方策を検討いただき、より一層充実した学習活動や館運営が展開されることを望むものである。

なお、当館は開館から20年余りが経過していることから、将来的な館の在り方とともに、施設等の老朽化への対応についても、中長期的な計画策定の必要性も視野に入れて今から検討を深められたい。

### 3 公益財団法人 岡谷市スポーツ協会

#### (1) 監査対象団体の概要等

##### ア 設立の目的等

公益財団法人岡谷市スポーツ協会（以下「協会」という。）は、昭和13年7月に岡谷市体育協会として設立され、昭和53年6月に一般財団法人岡谷市体育協会へ移行した。公益法人制度改革に伴い、平成25年4月に一般財団法人から公益財団法人へ移行し、令和2年4月に「公益財団法人岡谷市スポーツ協会」に改称した。協会は、岡谷市における市民スポーツの統括団体として、スポーツの果たす社会的役割の重要性を認識し、市民の健康の増進・体力の向上を図り、健康で豊かな人間性を涵養すること、また加盟団体の普及・強化にも寄与することを目的として事業を推進している。

##### イ 岡谷市との関係

令和元年度は、岡谷市からスポーツ振興事業補助金として1,081,000円が交付されている。また、業務委託料としてスポーツ大会開催事業委託料2,822,860円、スポーツ教室開催事業委託料2,656,467円及びおかやファミリースポーツプログラム委託料506,840円を受託している。

##### ウ 組織構成について

役員は15人で、その内訳は、会長1人、副会長3人、専務理事1人、常務理事2人、理事6人、監事2人となっており、理事には岡谷市スポーツ振興課長が含まれている。

#### (2) 事業の実施状況等

##### ア 事業の実施状況

令和元年度に実施された主な事業は、次のとおりである。

##### (ア) 法人関係事業

- ・法人事業運営全般、賛助会員の加入促進



(イ) 市民スポーツ普及事業（岡谷市からの受託事業）

岡谷市・岡谷市教育委員会主催のスポーツ事業（大会、教室、イベント等）を受託し、市民が競技スポーツや生涯スポーツを通じて、市民スポーツの振興と市民の体力向上を図るため、各種大会、教室、イベント等の開催を支援

- ・スポーツ大会 軟式野球大会（参加者数 200 人）ほか全 57 大会
- ・スポーツ教室 バレーボール教室（参加者数 24 人）ほか全 19 教室
- ・ファミリースポーツプログラム 親子でナイター野球体験（参加者数 26 人）ほか全 4 イベント
- ・長野県エースドッジボール大会（上伊那地区予選会 参加者数 133 人）ほか全 3 大会

(ウ) 市民スポーツ普及事業（支援事業）

加盟団体主催のスポーツ大会（大会、教室、イベント等）に対し、活動助成を行い開催を支援

- ・加盟団体が主催するスポーツ大会の支援 岡谷チャンピオンズリーグ（軟式野球 参加者数 120 人）ほか全 37 大会
- ・加盟団体が主催するスポーツ教室の支援 前期陸上教室（参加者数 95 人）ほか全 33 教室
- ・各区体育協会の支援 石船観音マラソン大会（参加者数 155 人）ほか全 45 大会
- ・スポーツ少年団の支援（競技活動、指導育成活動、交流活動、開発普及活動ほか）

(エ) 専門委員会の活動

4 専門委員会による事業推進、普及啓発等の実施

- ・総務委員会、事業委員会、広報委員会、スポーツ少年団推進委員会

(オ) 全国大会出場選手の激励、国体選手の激励と壮行会の開催

- ・全国大会へ出場したチーム等に激励金を交付（全 16 団体）

(カ) 指導者の育成事業

- ・スポーツ指導者の資質向上と活動促進及び望ましいスポーツ指導者の在り方について理解を深める（イップスのメカニズムについて「石井整骨院 石井俊久氏」）。

イ 決算の状況

(ア) 会費の状況

年 度	法 人	個 人	金 額
令和元年度	1,700,000 円 77 社 (85 口) (20,000 円/口)	570,000 円 83 人 (114 口) (5,000 円/口)	2,270,000 円

## (イ) 活動計算書 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産受取利息	3,500	3,500	0
受取賛助会費	2,065,000	2,270,000	205,000
受託収益	6,324,000	5,986,167	△ 337,833
登録等手数料収益	0	357,000	357,000
スポーツ少年団参加料収益	0	220,700	220,700
受取地方公共団体補助金	1,081,000	1,081,000	0
長野県スポーツ協会補助金	70,000	70,000	0
受取補助補助金等振替額	0	0	0
受取分担金	158,000	158,000	0
競技力向上大会協力金	430,000	230,517	△ 199,483
受取寄付金	0	0	0
受取利息	50	22	△ 28
雑収入	970,000	973,758	3,758
経常収益計	11,101,550	11,350,664	249,114
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	1,839,600	2,225,490	385,890
役員報酬	432,000	432,000	0
旅費交通費	64,000	274,451	210,451
通信運搬費	151,000	209,793	58,793
消耗品費	907,000	1,274,064	367,064
印刷製本費	275,000	312,400	37,400
光熱水料費	45,000	57,740	12,740
賃借料	10,000	6,349	△ 3,651
保険料	41,000	33,189	△ 7,811
諸謝金	1,104,400	1,067,905	△ 36,495
租税公課	2,000	2,200	200
支払登録料	220,000	207,800	△ 12,200
会議費	50,000	31,560	△ 18,440
委託費	1,404,800	1,528,246	123,446
市民スポーツ普及補助金	310,000	345,000	35,000
競技力向上補助金(全国)	160,000	210,000	50,000
スポーツ教室補助金	330,000	280,000	△ 50,000
競技団体補助金	630,000	660,000	30,000
区対抗体育大会出場補助金	438,000	415,000	△ 23,000
区体育事業補助金	564,900	519,900	△ 45,000
指導者養成事業補助金	0	30,000	30,000
雑費	60,000	111,832	51,832
事業費計	9,038,700	10,234,919	1,196,219
管理費			
役員報酬	432,000	432,000	0
給料手当	403,200	360,009	△ 43,191
福利厚生費	7,000	6,666	△ 334
会議費	48,000	33,020	△ 14,980
交際費	50,000	43,160	△ 6,840
旅費交通費	24,000	21,151	△ 2,849
通信運搬費	125,000	87,617	△ 37,383
消耗品費	190,000	285,263	95,263
修繕費	10,000	0	△ 10,000
光熱水料費	45,000	43,040	△ 1,960

租税公課	26,000	1,800	△ 24,200
支払負担金	41,500	41,500	0
支払手数料	20,000	19,413	△ 587
表彰費	140,000	0	△ 140,000
委託費	430,000	214,440	△ 215,560
広告宣伝費	40,000	40,000	0
雑費	396,000	350,303	△ 45,697
管理費計	2,427,700	1,979,382	△ 448,318
経常費用計	11,466,400	12,214,301	747,901
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 364,850	△ 863,637	△ 498,787
当期経常増減額	△ 364,850	△ 863,637	△ 498,787
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益		0	
(2) 経常外費用			
当期経常外増減額		0	
税引前当期一般正味財産増減額		△ 863,637	
当期一般正味財産増減額		△ 863,637	
一般正味財産期首残高		2,457,989	
一般正味財産期末残高		1,594,352	
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額		0	
当期指定正味財産増減額		0	
指定正味財産期首残高		50,000,000	
指定正味財産期末残高		50,000,000	
III 正味財産期末残高		51,594,352	

令和元年度における収支状況は、経常収益 11,350,664 円、経常費用 12,214,301 円である。当期経常増減額は 863,637 円の赤字である。なお、一般正味財産期末残高は 1,594,352 円で、基本財産 50,000,000 円を合わせた正味財産期末残高は 51,594,352 円となっている。

主な経常収益は、賛助会費 2,270,000 円、岡谷市からの受託収入 5,986,167 円と補助金 1,081,000 円及び長野県スポーツ協会補助金 70,000 円などである。

経常費用については、公益目的事業に関する事業費及び法人会計に関する管理費に区分され、概要を以下に示す。

#### (ウ) 事業費（公益目的事業会計）

事業費は、スポーツ振興事業、受託事業、スポーツ少年団運営事業等の公益目的事業を経理するものである。

決算額は、10,234,919 円で、主に給料手当 2,225,490 円、委託費 1,528,246 円及び消耗品費 1,274,064 円などとなっている。

#### (エ) 管理費（法人会計）

管理費は、法人の管理運営を経理するものである。

決算額は 1,979,382 円で、主に役員報酬 432,000 円、給料手当 360,009 円などとなっている。

### (3) 監査の結果

事業報告書、決算報告書及び総勘定元帳等の証拠書類並びに補助金等交付申請書、実績報告書等の確認を行った結果、当該団体に係る補助金については、交付目的どおり適正かつ効率的に執行され、また、目的に沿って適正に事業運営が行われているものと認められた。

### (4) 意見・要望事項

岡谷市スポーツ協会は、スポーツの普及、振興を図り、市民の体力向上及び健康維持、増進に寄与している。市からの受託事業ではスポーツ大会や教室の開催など、様々な場面において市民のスポーツ活動を支えるとともに、加盟団体と連携した指導者やスポーツ少年団の育成にも力を注がれ、これまでに培った専門的な知見をいかした事業を積極的に展開するなど、「第2次岡谷市スポーツ推進計画」の実現に向け、多大な貢献をされている。

しかしながら、スポーツ振興を担う公益財団法人として、その重要な使命や役割を果たす一方で、協会運営においては、正味財産を取り崩して事業活動に充当しなくてはならないような厳しい状況も見受けられることから、加盟団体や賛助会員の増強、拡大などによる自主財源の確保に努められ、将来にわたり生涯スポーツ発展の担い手として、また、安定的に機能し活動できる団体として、財政基盤の確立にも一層意を配されたい。